

〈考えて、動いて、話して、考え抜いて〉考動力・協働力を養成する人財教育講座

『考動力』を育てる

# 社会人力量成講座

## 第11回開催 ご案内

中小企業の経営者と話していると、人材活性化のテーマでご相談いただくことが圧倒的に多くなりました。色々なことは知っているが、仕事のレベルが低いという社員が多くなっていると考えておられるようです。知識を習得することを重視してきた社会によって、知識は豊富だが考えることが苦手という人たちが多数生まれてきたからでしょう。

覚える教育中心から「考える教育」中心へと時代が変わっていく中で、社会の課題を解決することを考えられる人材を育てなければ企業の継続につながりません。

そこでダンコンサルティングでは、2010年10月から、中小・中堅企業の後継者やリーダー力を生むための「**考えることがDNAになるための講座（社会人力量成講座）**」を企画し、開催しています。

講座は、「新しい価値創出に向けた課題の発見」「問題解決の実行力」「異分野と融合できるチームワーク」といった力の向上に主眼を置き、常に講師から「問い合わせること」と「答えは無数にある（ないかもしれません）」ことを身体で理解してもらう工夫をしています。



## ■「考え方」を育てる

21世紀の社会では、無から有を生み出す「考える力」と、それを実行に移していく「自ら動く力」のセット、つまり、「考動力」が求められます。

考えて動くためには、常に何かに「気付く」ことが大切です。それは好奇心と呼べるものかもしれません。つまり、「考動」は「気付き」から始まるということなのです。

日本の社会においては、小さな頃から「指示する」「答えを教える」という教育が行われており、社会人になっても同じことが繰り返されています。そのため、クイズのような答えが用意されている質問には知識の蓄積で対応することができても、答えのない未知の問題には困惑、狼狽、放縦、断念でしか対応できない現実があります。

「無」から「有」を生み出す考動力を身につけるためには、自ら疑問を持ち、考えて、自分で答えに辿り着くことを繰り返し、「答えは無数にある、あるいは答えがない」ことを身体で理解しなければなりません。ロールモデルの無くなった社会では、知識を得る訓練や早く正解に辿り着くための訓練では人生を楽しめません。気づいて考えて動くことを DNA にしなければ、「これから消滅していく仕事」しかできなくなってしまうということです。

本講座では、「考える力」の身に付け方や「気づき」の重要性に自ら気付いていただきます。

## ■カリキュラム

4月20日（水）

4月21日（木）

9：30	9時30分頃より受付開始
10：00	<b>CUBIC診断テスト①</b>
10：30	<b>第0講座 考えるを考える</b> ダンコンサルティング株式会社 代表取締役 塩見 哲 様々な分野から様々な質問を投げかけることで、モノの見方や考え方のストレッチングを行います。
12：30	お昼休憩 (自由にお過ごしください)
13：30	<b>第1講座 整理力</b> 加藤 秀一 頭の中に点在する情報や知識などを結び付けて課題解決に活かすために自己発見マップを用いて、論理的、感覚的なモノゴトの捉え方を養います。
16：30	<b>本日の振り返り</b>
17：30	

9：30	<b>第2講座 傾聴力</b> 鳥居 正男 傾聴は良い人間関係の基本です。常に人から学ぶという気持ちで真摯に傾聴する。聴いた内容を自分の頭で考え整理して次に生かす、この繰り返しが自らの成長につながっていきます。
12：00	お昼休憩 (自由にお過ごしください)
13：00	<b>第3講座 伝達力</b> 株式会社 エデューレエルシーエー 代表取締役 LCA国際小学校 学園長 山口 紀生 児童教育に20年以上携わってきた講師による実践的な演習により、文章力・発信力などのコミュニケーション能力を高めます。
15：00	<b>本日の振り返り</b>

現時点でのカリキュラムです。  
講座内容が一部変更になる場合もございます。

## CUBIC診断テスト

『CUBIC(適性検査)』は、5万人以上による心理データに基づき開発された人材採用や人材育成、組織診断のための測定ツールです。

リーダーやリーダー候補者など、経営幹部や中堅スタッフにとって、基礎的学力や知識以上に重要なのは、会社や職務に対する適性ややる気などの内面の問題です。「気分性」「慎重性」などの性格面や、「協調性」「責任感」などの社会性が数値でわかります。初日の受講前と最終講義後に行うことで、受講者のモチベーションにどのような変化が起こったのかを確認することができます。

## 第0講座：考えるを考える

「考える」とはいろいろな精神の働きの総称とも言えるでしょう。五感を研ぎ澄まし、見えないものを視る力が必要になります。そのためには、あらゆることに知的好奇心を持つことが大切です。モノゴトに関心や興味をもつことが新しい価値観や考えを柔軟に取り込む基本だからです。

マラソンや野球などのスポーツを始める場合には、必ずストレッチから始めます。筋肉や腱などを動かして、身体に動き方を伝達しておくためです。「考える」ためにもストレッチは必要です。第0講座では、ダンコンサルティング(株)の代表塩見(ダンコンサルティング：<http://www.dan-tcg.co.jp/>)が、皆様に気付きを与える、意識させることを主軸として、様々な質問を投げかけます。普段考えることに慣れていない受講者に向けて頭のストレッチを行い、第1講座以降をスムーズに受講しやすい状態に導きます。

6月1日(水)

6月2日(木)

10:00	<p><b>第4講座 質問力 &amp; 分析・分解力</b></p> <p>吉田国際特許事務所 代表 吉田 芳春</p> <p>質問能力とは疑問から生じます。この疑問は、未来や社会を意識していることから生まれてきます。同時に、物事の判断を下すのに必要な分析・分解力は、複眼思考が要求されます。</p>	9:30	<p><b>第6講座 哲学café</b></p> <p>ダン社会保険労務士事務所 大井川 友洋</p> <p>幾つか用意したテーマについてざくばらんに考え方をお話いただき、他者への理解や自分の見解の変化・深化に気付いていただく場にしたいと考えています。</p>
12:30	<p>お昼休憩 (自由にお過ごしください)</p>	11:30	<p><b>ランチ</b></p> <p>会場内で昼食</p>
13:30	<p><b>第5講座 構想力</b></p> <p>株式会社スピングラス・アーキテクツ &amp; 株式会社 大央 代表取締役 松岡 恒子</p> <p>課題の背景を読み取り、次元を上げて本質を定義し直す力と、それを周囲と共にしつつプロジェクトを進めるプロセスなどをディスカッションします。<b>※webによる講座となる可能性がありますが、双方向に主眼を置いていくことに変更はございません。</b></p>	12:30	<p><b>プレゼンテーション</b></p> <p>派遣元企業の幹部の方は コロナ感染症の状況によりますが、 会場で見学いただく、又は 録画配信 で ご覧いただけるよう準備します。</p>
16:30	<p><b>本日の振り返り</b></p>	15:30	<p><b>講評・振り返り</b></p>
17:30		16:30	<p><b>CUBIC診断テスト②</b></p>
		17:00	

## ■受講により目指すところと、選ばれた講師陣

### 第1講座：整理力

『整理力』とは自分整理力のことで、過去から現在の実態を理解することです。自分自身の歴史を、深く掘り下げることで現在を認識して、未来に向けた個人のプレない軸を探します。

この講座では、前向きな人を育て、個人と組織に必要なネットワークをゼロから創る専門家である加藤秀一氏に登壇いただきます。

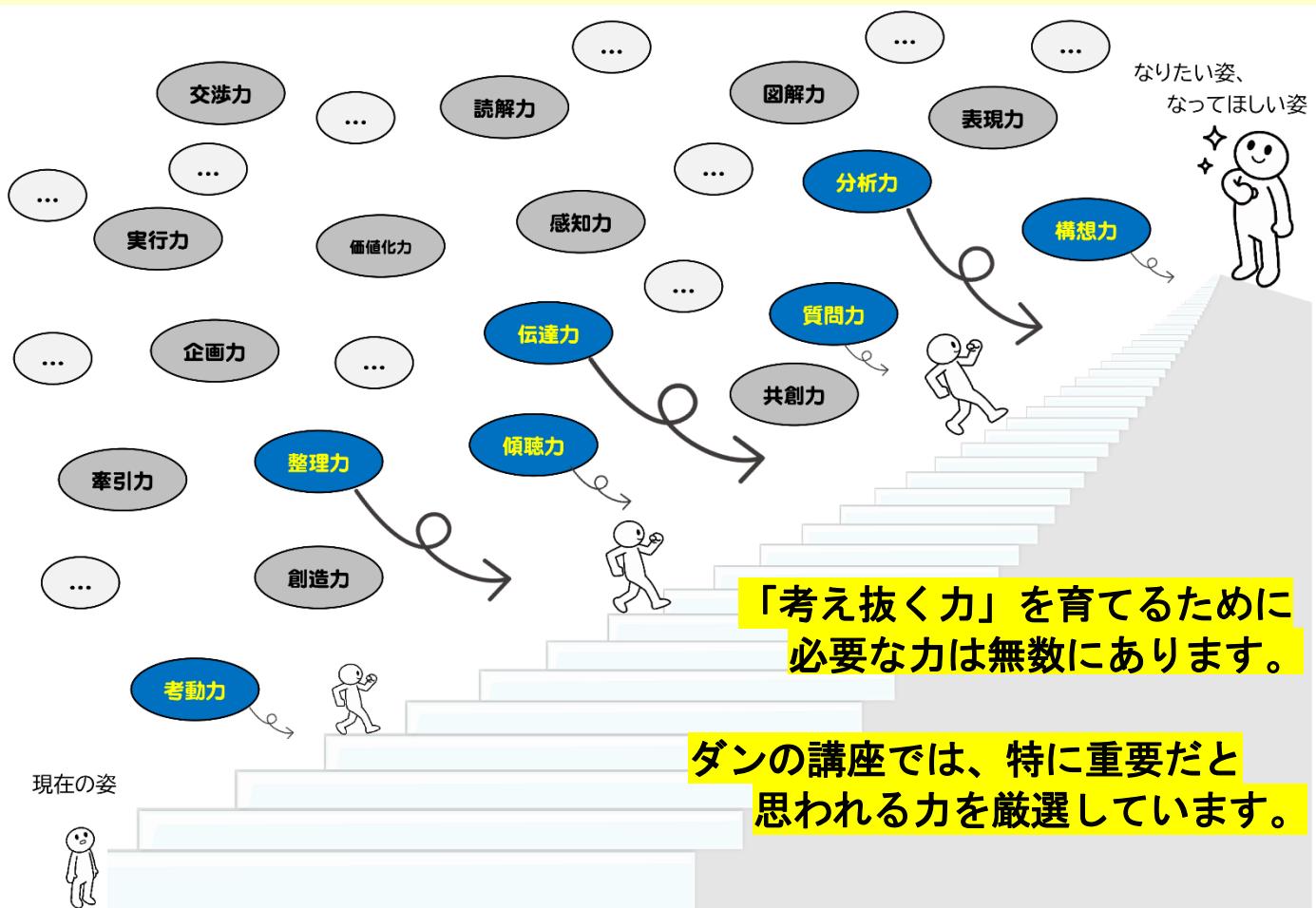
過去を深く知り、現在を理解し、未来を考える、が一目瞭然にわかる「自己発見マップ」を用いることで、自身の強みを知り、自信を持ち、未来の自分を描き出します。最終的に、意志として伝えることで、夢の実現へ向けた考え方をまとめきつかけを得ることができます。

### 第2講座：傾聴力

常に謙虚な気持ちで他人から教えてもらうという姿勢を持つことにより、本音の情報が入り、組織の課題がわかり、やる気あふれる組織づくりを目指すことができます。そのためには、聴いたことを自分の学びとして現状を打破し、改革に結びつけることを考えて実行する。その真剣な姿勢を実践していれば、さらに生きた情報が入ってくるようになります。生きた情報の中でも耳障りな話の中に大事なヒントが隠れていることが多いのではないでしょうか。組織のことを真剣に考えている社員が、この人だったら聴いてくれる、そして動いてくれる、という期待感を持って話に来るようになればしめたものです。皆さんと一緒に、どうやって傾聴力を高めるかを考えたいと思います。

講師の鳥居正男氏は、28年間に渡り、ロシュ、シェリング・プラウ、ベーリンガーインゲルハイムなど外資系製薬メーカー日本代表の社長を歴任されて来られた経験と実績があり、「人の話をじっくり聞く」というスタイルで数多くの部下を育ててこられました。傾聴力を実感してください。

（著書「いばる上司はいずれ終わる」「上司は部下に仕えなさい！ 新時代のリーダーシップ論」）



## 第3講座：伝達力

『伝達力』とは、相手に正しく伝える力です。「伝える」ということは、伝えたい意図が相手に理解されているという前提が必要です。つまり、相手の頭の中に、自分が伝えたことがそのまま思い描かれるようになるためには、常に相手の立場を思いやる姿勢が必要だということです。

この講座では、6年間の教職の後、「子どもが生き生きする教育」の私塾を立ち上げ、日本で初めての株式会社立小学校を設立された**株式会社エデューレエルシーエー**の学園長山口紀生氏(エデューレエルシーエー：<https://ica.edure.co.jp/>)に、伝達からコミュニケーション、自己表現について、日々、小学校やプリスクールで実践されていることを教えていただきます。

(著書：「親子のコミュニケーションが変れば、世界が変わる」「親子でつくる見たこと作文」

「8割が高校卒業の英語力！卒業までに英検2級に合格できるのびのび小学校」など)

## 第4講座：質問力＆分析・分解力

知的財産支援の第一人者である吉田弁理士の仕事の入口は、正しい質問ができるかどうかであると言われています。知財支援といつても依頼者が具体的にどうしたいのかがわかつていないケースが大半だからです。

そのため、「何の為に」「何を」「どのように」「どうしたいのか」などを、具体例を挙げながら依頼者に質問を繰り返し、依頼者の本質的な正しい問題を自ら考えてももらうようにしていくのです。

また、問題とは課題の積み重ねであるため、問題を解決するためにはその問題を構成している複数の課題に分解して、分析していかざるを得ないのです。

講師の吉田芳春弁理士は、吉田国際特許事務所(<https://www.yoshida-ipo.com/>)の代表で、元日本弁理士会副会長の役職も経験され、日本では中小企業向け知財支援の第一人者です。46年に渡る弁理士業務の中で培われた質問力や分解力が、いかに考える力を生み出すための土壤になるか、じっくり味わってください。

(著書：『守る、攻める！グローバル時代の知的財産権活用戦略』

『中堅中小企業向け 特許管理業務完全マニュアル』など)

## 第5講座：構想力

『構想力』とは、理想を実現する上で「想い」を共有するために必要な力です。人はいろいろな関係性の中で生活をしています。今日一日で考えてみても、何人の人とつながり合っているか考えてみてください。しかも、その関係性は多種多様であり、百人百様でしょう。

この講座は、**株式会社スピングラス・アキテクツ・株式会社大央の代表取締役**である、世界的建築家の一人である**松岡恭子氏**(建築家 松岡恭子氏 <https://www.kyokomatsuoka.com/>)が担当されます。

前回の講座では、アクターズ・スタジオ・インタビューの形式を用いて行いました。松岡さんはどんな人？と題して、松岡恭子氏をまるっと解剖しながら、それはなぜ？どうして？などの疑問をたくさん投げかけながら、「想い」の伝え方や、「次元を上げる」お話をいただいている。

## 第6講座：哲学café

『哲学café』では、受講者全員が主役となって決まったテーマについて議論を進めます。ゴール（答え）はありません。受講者全員の発言を通して、複数の論点や話題を行ったり来たり、または、一つの論点を深く掘り下げるなど、「考えるとはどういったことなのか」を発見して探求する場です。

哲学caféに決まった定義はありません。当日は、**ダン社会保険労務士の大井川友洋**が進行役となって全員で話し合い、他者の話に耳を傾けて考え、自分の意見を伝える、会話のキャッチボールを行います。

## ■ご参加いただきたい方

- ▶次世代を担う後継者候補や中堅社員の方
- ▶マネジメントに関わる幹部社員、または関わる予定の幹部候補生
- ▶新規事業に関わる方
- ▶意識を変えたい方
- ▶社外ネットワークを作りたい方

### ●複数参加で効果が倍増！

- ・複数で参加されることで、お互いが刺激・啓発し合う存在となり、同時に会社全体の士気が高まります。
- ・研修終了後、研修内容を社内でフィードバックする際に、浸透度合い・影響度合いが大幅にアップします。

## ■受講者の感想

- ・改めて、あまり考えず生きてきたことを実感しました。問題と課題、目的と目標のような言葉もあまり意識していなかったと思いました。これからはしっかり疑問を持ち考えることを日常にしていきたいと思います。
- ・「なぜ」という問い合わせに応えていくのはとても面倒くさい。でもその面倒なことから逃げていたら考えは深まりません。大切なことの多くは面倒の奥にあるのだと思います。
- ・考えるを当たり前に行っていたと思っていたが、それは考へているつもりだと痛感しました。
- ・客観的に見る事で、自分ではできているつもりでしたができていなかつたことに気が付きました。自分では無意識にやってしまっていることにも気付けてとてもよかったです。
- ・言葉は便利なツールであると同時に、万能ではないことを再認識しました。同じ言葉や図を見ても、人によって見方が異なります。前提を揃えておく作業はコミュニケーションをとる上で大事だと感じました。
- ・思考の整理方法について気づかされました。
- ・心に伝わるようなプレゼンができるようになりたいと思いました。  
最終日は自信をもってプレゼンできるようにしたいです。



## ■開催要項

開催日	2021年4月20日(水)・21日(木)、6月1日(水)・2日(木) ※ 全日程受講者のみが対象となります。
料 金	180,000円(税別) ※2名様のお申し込みの場合、お2人目は150,000円(税別)です。 ※ 料金の中には、テキスト代(講師書籍など)、最終日の昼食代、及び、初日と最終日に行うCUBICテスト費用(2回分)等、一切を含みます。
定 員	12名程度 最大96名収容のセミナールームを利用します。定員を収容人数の15%以下である12名と設定し、スタッフを含めても20%以下の人員にします。 体温測定、室内や手指の消毒等は当然のことながら、外気の取り入れ、排気を自動で行う空調方式による空気の入れ替えが30分に1回あり、安心してご受講いただけます。
開催時間 全4日間	4月 20日(水) : 10:00~17:30、4月 21日(木) : 9:30~16:30 6月 1日(水) : 10:00~17:30、6月 2日(木) : 9:30~17:30 ※ カリキュラムにより終了時間が変更になる場合もございます。 ※ 最終日はプレゼン成績発表、講師講評があります。また、派遣元企業の幹部の方々にはwebでプレゼンの様子をご覧いただくように準備しています。
開催場所	TAP高田馬場(高田馬場駅 徒歩約3分) 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階

## ■アクセス

### ▶最寄り駅

JR山手線・西武新宿線

東京メトロ東西線

「高田馬場駅」

東京メトロ副都心線「西早稲田駅」



**FAX番号 03-3232-1198**

## 参加お申込書

下記の通り 申し込みします。

申込日	2022年 月 曜日		
会社名			
所在地	〒 - TEL:( ) - FAX:( ) -		
お申込み ご担当者様	フリガナ		
	氏名		
	メールアドレス	@	

### ◆ご参加者情報

ご参加者氏名	フリガナ			
	メールアドレス	@		
	生年月日	昭和・平成 年 月 曜日( 歳)		
	性別	男・女	勤続年数	年
	部署		役職	
職歴	現在の職場でのキャリアを簡単にご記入願います。			
ご参加者氏名	フリガナ			
	メールアドレス	@		
	生年月日	昭和・平成 年 月 曜日( 歳)		
	性別	男・女	勤続年数	年
	部署		役職	
職歴	現在の職場でのキャリアを簡単にご記入願います。			

## ■お問合せ

 **ダンコンサルティング株式会社**

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-18-6 柳屋ビル6F  
TEL 03-3232-1409 FAX 03-3232-1198